

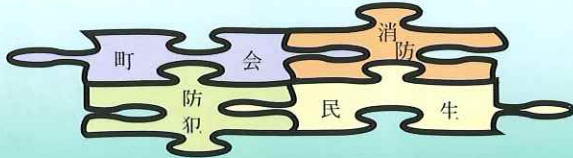
小域福祉ネット

牛久

第 32 号  
令和 6 年 2 月 発行  
牛久小学校区  
小域福祉ネットワーク  
広報委員会  
2 月・8 月発行  
発行責任者  
山本 義雄



創ろう！  
安心・安全・元気な街



能登半島地震に思いをよせて

令和六年元旦の午後四時十分ごろ、新しい年の始まりに日常の暮らしを一変させた能登半島地震では今なお、救援、復旧、復興の道筋が厳しい状況です。

被災された方々、また当該地域での被災関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに救援、復興が進んでいくことを心より願っています。

これまでの様々な甚大災害の経験から、能登半島地震の報道を注視していました。多くの報道が「命を守る行動」を連呼していることが象徴的であり、情報伝達において初動の大切さを実感しました。

私たちも日頃からの災害時の対応について様々な活動を重ね、今年度は市の危機管理課の要請を受け「土砂災害警戒区域」にお住まいの方を対象に「個別避難計画のモデル地区」として、個別の選択世帯にご了解をいただきました。



避難時の具体的な行動計画を市、地域、保健、医療等の福祉サービス機関が連携してその計画づくりを進めてまいりました。地域連携を中心にしたモデル事業として今後の定着化の方向が示されることを期待するとともに、本活動には全面的な協力をしていきたいと考えています。

また、この度の能登半島地震でいっそう痛感したこと「安心生活見守り支援事業」を通して「異変の気づき」の大切さです。災害時にどんな形で安否確認が出来るかどうかも含め、今後の大きな課題であると認識しています。

そのためにも今、地区協会で進めようとしている「日常生活支援事業」を通して、本当に支援を必要としている方々への「気づき」をどこまで活動に取り入れることが出来るか共に考えてみたいと思います。

牛久小学校区小域福祉ネットワーク  
会長 山本義雄

「こども 110 番の家」  
協力者への訪問実施

現在牛久小学校の子どもたちは地域の多くの皆様方に見守られて、すくすくと成長しています。そのなかで地域の子どもを犯罪から守り、子どもたちが安心して暮らせる環境づくりの活動を推進するための事業として「こども 110 番の家」(市原市・市原市青少年育成会議)事業があります。

この度、現在の牛久地域に関わる一九名の協力者の方々を対象に、小域福祉の役員を中心にお礼挨拶訪問を実施することになりました。

- ・ 事業実施協力者へのお礼のご挨拶と今後の継続協力のお願い
- ・ 実施協力者の転居などに伴う実態調査
- ・ 老朽化ステッカーの張替えを三月までに進める予定です。



「こども 110 番の家」のステッカー表示風景

小域福祉ネットワークでは、牛久小学校・学区民会議と連携し、地域の犯罪防止機能を一層高め子どもたちが安全に暮らせる環境づくりを進めていきます。

また新規の登録可能な方は、牛久小学校(連絡先九二〇〇二二)までご連絡ください。ご協力をよろしく願います。

# 福祉ネット牛久



- ① 防犯意識の啓蒙普及
- ② 関係機関/団体との連絡協調
- ③ 犯罪の予防/協力援助
- ④ 暴力排除運動の推進
- ⑤ 少年の非行防止のための活動/援助
- ⑥ 青少年相談員への活動援助
- ⑦ 風俗環境の浄化
- ⑧ 防犯資機材の充実強化
- ⑨ 防犯功労者等に対する表彰等です。

## ネットワークの構成団体紹介

### 防犯協会南総支部

『みんなであつくりよう 安心の街』をスローガンに防犯指導員は二年間の委嘱を受けて南総支部六地区(牛久・内田・鶴舞・平三・寺谷・戸田)は、現在五十名で「社団法人・千葉県防犯協会」と連携しながら活動しています。防犯指導員の活動目的は



防犯協会南総支部  
支部長 永野祐治

牛久地区では、主に犯罪抑止パトロールを毎月十五日に事務局一名、防犯指導員五名、町会長四名、民生児童委員一名、警察官一名の十二名(事務局長、防犯指導員以外は当番制)で、南総幹部交番から規定のルートで実施しています。また、市原市防犯協会からの要請で、防犯啓発に関するキャンペーンにも協力して、チラシやグッズの配布を牛久駅又はTマート駐車場で行っております。今後とも、皆様のご協力をお願い致します。

## 小域福祉ネットワーク活動アンケート調査実施

令和五年歳末たすけあい運動の一環として牛久小学校区小域福祉ネットワーク街頭PR活動を小湊鐵道上総牛久駅前広場で、昨年十二月十日(日)に実施しました。目的は、広く地域住民の方々に対して小域福祉ネットワークの活動を紹介し、認知度を高めていただくと共に、地域にとつて必要となる活動の展開を目指し、地域のニーズの把握の一助とするため、当日多くの方のお立ち寄りがありました。回収できました四十三名の方々のアンケートの結果は次の通りです。

- ① 小域福祉ネットワークをご存じない方 **50%**
- ② ボランティア活動への参加希望は時間があればしたい **70%**
- ③ いざというとき住民相互の助け合いの必要性は? **95%**

牛久小学校区小域福祉ネットワークは、牛久地区二十六町会の町会長をはじめ、民生児童委員等のこの地域で活躍されている各ボランティア団体の皆様によって構成され二カ月に一度の例会で、この地域における福祉活動について討



## あいあい広場



### 二十周年目の自主防犯会

平成十六年二月に皆吉地区在住の中孝壽さんを中心に牛久小学校区自主防犯会が結成され、今年で**二十周年**を迎えます。発足時は、数名の会員でしたが現在は二十三名で、子どもたちの登下校の見守り活動を行っています。子どもたちの朝・夕の明るい声の挨拶と笑い声に見守りをしていく喜びを感じます。子どもたちが明るく元気に安心・安全に登下校できることを



送迎バスの見送り風景



楓橋交差点の風景

願ってこれからも活動して行きます。自主防犯会の**会員も高齢化**になり「地域の子どもの地域で守る」と言う事が思うようにならなくなつたりつづつあります。この活動に賛同して頂ける方の参加をお願い致します。

自主防犯会  
会長 中川正孝  
連絡先 (090)1810-17054

話し実践に移しています。以上のアンケート結果を重視しつつ、小域福祉ネットワークの活動の認知と、住民相互のご協力を得ながら住民の福祉活動を進めていきたいと思つています。皆様のご協力とご理解を引き続きお願い申し上げます。



高齢者部会長

児井敏雄

### 編集後記

今年新年早々能登半島で地震が起きた。平成・令和の時代になり阪神淡路大震災から29年、東日本大震災から13年。その後も各地で大地震が発生していることから「天災は忘れたころにやってくる」ではなくてきています。行政・地域・個人それぞれ防災意識は高まっていますが、今回の地震を教訓に改めて水・食料の備蓄など地震への備えを再点検してみませんか。

【広報委員会】